

支部だより

令和3年1月
第86号

「みんなで突き破るぞ」

南宗寺門徒会館・納骨堂
見学会のご案内

支部会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

ご家族や親しい方々と暖かい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナ感染拡大の第三波が日々全国に波及し深刻さが増すなか、社会経済の先を読むと言われる株価はバブル期以来の高値を付けるなど、あとしの辛抱との予感も感じられます。それでも気を緩めず三密を避け、用心怠りなくしなければなりません。

さて、昨年の支部活動は春の通常総会は書面議決方式で実施できたものの、夏の納涼懇親会は中止、例年この号でご案内する新年会・ボーリング大会も中止です。それでも2級製図講習会、神戸東灘見学会、青年部会活動は企画や実施方法を工夫して行うことができました。この後、2月13日(土)には南宗寺門徒会館・納骨堂見学会も実施します。

ほかに懸案だった新規ホームページ

(<http://www.kentikushikai-kakogawa.com>)も開設できました。また、多くの新入会員(速水香織さん、久保田美咲さん、貴傳名良泰さん、高松冬果さん、植田泰介さん、井上しおりさん)をお迎えすることもできました。

なにより、本支部所属の(公社)兵庫県建築士会会長 宮宅勇二氏が、昨年秋に黄綬褒章を叙勲されました。大変な一年でしたが、多くの嬉しいこともありました。

今年も厳しい状況は続きますが、これからは「コロナの影響で」ということばを使わないことにします。皆様のご支援とご協力をいただきながら例年以上の活動を目指します。

令和3年の干支は「丑」、一步一步、上を向いて進み、さらなる発展の年にしていきたいと思えます。

また、今年の近畿建築祭(兵庫大会)は姫路市で開催されます。具体的な企画はこれからですが、コロナ禍を克服した記念大会にするため知恵と力を結集させましょう。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

今、思いつく言葉をひとつ、「雲外蒼天」、みんなで突き破るぞ！

(支部長 小西 敏文)

昨年1月の斑鳩寺庫裡見学会に引き続き、10月に竣工した南宗寺門徒会館・納骨堂の見学会を企画しました。この施設は、加古川市西神吉町にある浄土真宗本願寺派南宗寺さんが、同地区内に新築された建物です。

斑鳩寺庫裡が伝統建築であるのに対して、木造寺院建築において意匠と構造共に随所に新たな試みが見られる建物です。高御位山の裾野に立ち、深い軒の出をもちながら、外部空間と内部空間が一体となるようにデザインされ、伝統のなかに斬新さを取り入れたところに見ごたえがあります。

この機会に、設計監理業務におけるご苦労話もお聞きできると思います。

設計監理 建築：古田建築設計事務所

構造：木構造建築研究所 田原

興味のある方、是非ご参加ください。お待ちしております。

(研修委員会 委員長 増田 正幸)

記

1. 開催日 令和3年2月13日(土曜日)
14時から
2. 集合場所 加古川市西神吉町1610
南宗寺門徒会館・納骨堂(敷地内に駐車場)
西神吉小学校西側道路を北に進み(加古川運動公園陸上競技場方面)最初の信号を直進して100m過ぎた左に建つ
3. 参加費 500円
4. 申込締切 令和3年2月10日
5. 申込及び問合せ先
連絡・参加申込書に記載しております。



上空からの外観

当日参加の場合は、2月13日（土）10時までに、小西支部長までお問い合わせください。



納骨堂夜景

恒例「新年会&新春ボーリング大会」 開催 見送り のお知らせ

令和2年11月10日第4回理事会において、開催について協議致しましたが、感染拡大が再び進んでおり、開催を見送ることとすると決定いたしました。

(厚生委員会)

令和2年度（公社）兵庫県建築士会 加古川支部 神戸東灘 見学会に参加して

建築士会の史跡散策に、初めて参加させていただきました。あまり、こういうイベントには参加してこなかったのですが、少し戸惑いもありましたが、楽しい時間と建築に触れ合う小旅行ができたものと思います。

加古川駅より出発し、阪急御影駅で下車。そこから、建造物文化財の香雪美術館へ。数々の展示物に、広大な庭千坪を散策致しました。

建築群も、洋館は来賓を意識したような、大正モダニズム建築と和風建築の融合した巨大なものでした。

設計者は藤井厚二氏。時代を先取りしつつも日本人としてのアイデンティティを強く意識した設計者のような感じがしました。

中に入れなかった事が、少し残念でしたが、将来、開放されるなら、もう一度訪れたい場所でもあります。

それから昼食。人見知りの私ですが、このころには皆様と打ち解けて話せるようになり、昼から御影公会堂に、皆で向かいました、

この公会堂の大改修を設計監理された神戸市職員の方の説明をお聞きし、この改修工事がいかに大変なものであったかが、よく解りました。

昭和初期の建築の美しさを守りつつ、現代のユニバーサルデザインにも対応しなくてはいけないのは、本当に大変だったと思います。

そのあと、甲南漬物資料館へ。資料館の方のユ

ニークな説明が、とても印象的でありました。こちらの建築も竣工は1930年と昭和初期の建築、大正時代のアールデコ調の建築、先程の御影公会堂と同じ設計者、清水栄二氏という話でした。

曲線の美に感銘をうけつつ、何かここも日本人としてのアイデンティティを感じる様な和風の匂いも感じました。特に感銘を受けたのは屋上に通ずる通路は幻想的な感じがして、印象深いスポットでもありました。

その甲南漬けのお土産を買い、最後の訪問先酒蔵「福寿」さんに。ここは自由参加ということでした。試飲をさせてもらい今日一日の色々な事を皆様と語らいながら帰宅の途に。

とても充実した一日が過ごせたことで、こういう一日もいいものだなと思っています。また機会があれば是非参加していきたいと思っています。

最後に、支部長を初め、この企画を準備された方々に、感謝したいと思います。

(竹内 重宏)



香雪美術館休憩処



御影公会堂

青年部情報 (青年部会)

1.公益事業 5-2 2級製図講習会 3名申込み
2名受講。

9/13（製図試験）⇒12/3（1名の合格確認）

2.活動状況

・東播ブロック・・・中止

・加古川楽市・・・中止

・見学会等の企画・・・中止

・近畿建築祭：大阪 10/17

（10:00～17:00）

・FORZA 若い夢フェスティバル・・・中止

・現在、三役会以外開催見送りをしています。

黄綬褒章をいただいて



昨年の秋に思いがけず、天皇陛下より黄綬褒章をいただきました。正に光栄の至りです。

大きな喜びと共に、これまで関係者の皆様をはじめ、多くの方々に支えられてきた事に深く感謝申し上げたい、と存じます。

何故受賞されたか、と言えば、建築士会における活動がその大きな理由のひとつであるのは間違いないことだと思います。

思い起こせば、20 代後半に建築士会に入会し、早や 40 年近くが経ちました。

思い出に残る数多くの出来事がありますが、最も記憶に残る事をひとつ御紹介したいと思います。

それは、当支部の青年部長をしていた時に、支部創立 30 周年を迎えました。創立 30 周年記念事業の一つとして、「少年少女絵画展」を青年部で開催しました。

これは「未来の都市、建物、我が家」という題名で、小学生を対象とした絵画展を開く、というものでした。夏休み前に二市二町の 47 小学校に青年部員が手分けをして、応募のお願いに行きました。そして最終的に 229 点の力作が集まり、秋に松風ギャラリーに全ての作品を展示して、士会員、一般の方々に鑑賞していただきました。

そして、金賞、銀賞等を士会員の投票によって決定し、式典の際に児童を招いて表彰状と記念品を渡しました。

また、ちょうどその頃、加古川市役所新庁舎の建築工事期間で、地域振興課からあるお願いがありました。それは仮囲いに優秀作品 2 名の拡大図を描いてもらえないだろうか、ということでした。金賞、銀賞、の 2 人に頼んでみると、快く引き受けてくれ、工事期間中鑑賞出来たのです。そんなおまけの様な事もありました。

その絵は現在も縮小され、陶板画として、庁舎南側の塀の一角に残されています。

過去を振り返ってみると、他にもいろいろ思い出されますが、紙面の都合もあるでしょうからここ迄とします。

今後も褒章をいただいたことに対しての御礼、という意味でも、建築士会に対して、微力ながら力を尽くしたい、と存じます。

共に歩んできた会員の皆様、これからもよろしくお願い申し上げます。(宮宅 勇二)

理事会報告

理事会ってどんなことを話し合っているのか？について少しご紹介いたします。

■協議事項

(1)各委員会の活動状況

①広報委員会

- ・支部だより 85 号・86 号について

②研修委員会

- ・見学研修会（神戸東灘見学会）について
- ・市内見学会の開催 ※古田さん設計・監理（南宋寺 門徒会館、納骨堂）見学会について

③厚生委員会

- ・新年会・ボウリング大会 の開催について
- ・新型コロナウイルスの感染予防を踏まえ、対応を協議

④青年部会

- ・2 級製図講習会について
- ・活動状況及び予定について

(2)その他

①支部ホームページの運用開始について

アカウント：kentikushikai-kakogawa.com

本部理事会で報告後、本部 HP へのリンク依頼

②秋の叙勲で、宮宅勇二氏が黄綬褒章を受章。

支部主催の叙勲祝賀会は、感染拡大の懸念解消後、行うこととする。

2. 本部理事会報告

(1)本部理事会で協議されたことを支部長より報告

(2)県本部各委員会

各委員会に出向されている方より、報告事項がある場合に報告して頂いています。

■会員動静（会員数・入退会等）

■次回 理事会開催日

こんなこと・あんなことを話し合っています。最後に次回開催日を確認して閉会です。

編集後記

毎回毎回、慌ただしく支部だよりをまとめているですが、コロナ禍で事業の中止や縮小で、支部だよりに掲載する記事を依頼しにくくなりました。

そういう中でも、当会支部長の任にも就かれた（公社）兵庫県建築士会 会長 宮宅勇二氏が黄綬褒章を叙勲されるという記事を書けることができ、大変嬉しく思っています。

『ええはなしやん』では、青年部長時代に、創立 30 周年記念事業の一つとして、キラリと光る事業をされ、その当時子どもたちにとっても、心に残る出来事だったと想います。また、私たちにとっても、示唆に富むエピソードを披露して頂けたのではないのでしょうか。

『神戸東灘 見学会に参加して』では、初めてこういうイベントに参加したと言われる竹内さんに記事を書いていただきました。上手くまとめて頂

き、感謝です。

『南宗寺門徒会館・納骨堂見学会のご案内』ですが、どんな建物か写真でよくわかり、作成している私はカラーで見ているので、より鮮明に素晴らしいさが伝わってきます。研修委員会の皆様には毎回素晴らしい企画をして頂いているなぁと感じています。

今回、紙面に余裕があり、『理事会報告』で、理事会ってどんなことを話し合っているのか？についてレジュメに沿った形で、少しご紹介しました。理事の方だけでなく、全ての会員の方に、どんなことを話しているのを知って頂き、建築士会をより身近に感じて頂けたらという想いからでした。

支部長の新年のご挨拶の最後に、「雲外蒼天」、みんなで突き破るぞ！というお言葉を頂きました。

「雲外蒼天」とは、文字通り、〈雲を突き抜け

たその先には、青空が広がっている〉ということですが、転じて、〈努力して苦しみを乗り越えれば、素晴らしい世界が待っている〉といったことを指して使われる』とあります。

このコロナ禍を乗り越えれば、素晴らしい世界が待っているのです。みんなで突き破っていきましょう！

最期になりましたが、会員の皆様からの“ええはなしやん”を載せていきたいと思いますので、情報をぜひお寄せください。

また、支部HPも見えて頂いて、ご意見ご要望もお寄せいただければ、大変嬉しいです。こちらも宜しくお願い致します。

(広報委員会委員長 高橋 賢吉)

連絡・参加申込書

メールかFAXで送付してください。(郵便も可)

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。(個人情報保護法に基づき管理致します)

事業名	参加者氏名	(緊急連絡先)	非会員 表記欄
南宗寺門徒会館・ 納骨堂 見学会	氏名	電話	
	勤務先等		
	氏名	電話	
	勤務先等		

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部
事務局／吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350
支部長 小西 敏文 直通 TEL：090-7889-2626
E-mail：kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com



支部だより

令和 3 年 4 月
第 87 号

「今年度もご協力、ご支援を」

“国破れて山河あり”・・・、暖かく穏やかな季節の到来です。ちょっと風が冷たい事もありますが、屋外の空気は快適です。世の流れを尻目に、しっかりと春の営みが始まっています。皆様も世間の気苦労を尻目に悠々と活動されていることと信じます。

さて、“集まらなきゃ意味がない”とばかりに、皆様にお声掛けをするのが常なのですが、引き続き自粛のお知らせとなります。しかし、皆様はネットを利用して会議を持たれる事もあるのでしょうか。“習うより慣れろ”とスマホを入手された方なら、当たり前になっているかも知れません。連絡を取り合ってこそ楽しく活動が進むと思いますので、我々もネット電話等を活用する事になると思います。とにかく色々な方法でお誘いは続けてゆきますので、今年度もご協力、ご支援のほど宜しくお願い致します。(副支部長 吉備 考司)

支部総会の書面議決方式にご理解をお願いします

今年の桜の開花は例年より早いそうです。このままでは入学式の記念写真は若葉の下となるかもしれません。少し前、支部総会の資料を取りまとめていたところは、いろんな花の水仙があるものと散歩中、家々の庭先に目が行っていたものです。それが今は、日を追うごとに日差しも暖かくなりもう春間近かです。いつものことですが、心が和みます。

さて支部では感染拡大を予防するため、今年も支部総会を書面議決方式で行うことにしました。総会には及びませんがこの場をお借りして、簡単ですが議案の説明をさせていただきたいと思えます。

第 1 号議案の会員動静について、6 名の方が入会され、6 名の方が退会されました。県下全体では会員数は減少傾向ですが、多くの入会者がありました。入会者の中には青年部が主体となって活動している 2 級建築士製図試験対策講習会の受講生の方もおられます。

第 2 号議案の事業報告について、コロナ禍のなか支部だよりを 4 回発行しました。また見学会を 2 回開催し多くの参加者がありました。ほかに本部所管の建築士試験の監理員に延べ 36 名の会員を派遣しました。

第 3 号、第 4 号議案について、3 月 21 日、尾上公民館で収支決算監査を受け適正であると認めていただきました。

第 5 号議案の役員改選について、7 名の方を副支部長ほか各委員会の役職と監事に、2 名の方を新しく理事に提案しています。

第 6 号議案の事業計画について、昨年度と同様の計画を提案しています。

第 7 号議案の予算案について、収入は支部会費と各事業の参加費を見込んでいます。支出は、ほぼ昨年度と同様の予算を計上していますが、7 活動支援金(2.参加補助金)と 10 予備費を増額しました。これは近畿建築祭(兵庫大会)が令和 4 年 1 月 29 日に姫路市で開催されることを踏まえ、より多くの会員に建築祭に参加していただけるよう参加補助金を増額しました。またコロナ禍収束を見据え、支部事業の充実、新規交流事業の企画にも対応できるよう前年度の繰越金から 20 万円を予備費に積み増し、25 万円としています。

総会は 1 年間の支部活動を総括し、会員の皆さんと新年度、より良い活動を目指して意見を交換する大切な機会です。その総会を今回も見送らなければならないのは残念ですが、ご理解をよろしくお願いいたします。

そして来年こそ、総会で議案の説明をして決を採る。その後の懇親会では近況や世間話で歓談、親交を深める。いつもの総会を開催したいと思えます。(支部長 小西 敏文)

南宗寺門徒会館・納骨堂 見学会のご報告

去る、2 月 13 日(土)に、南宗寺門徒会館・納骨堂の見学会を参加者 20 名にて開催しました。南宗寺は西神古町鼎集落にある寺院で、その東 300m の元々田圃であった敷地に門徒会館・納骨堂が新築されており、久々の地元加古川での見学会となりました。

設計監理は、建築：古田建築設計事務所、構造：木構造建築研究所 田原、施工はヒラカワ建設にて当該建物は昨年 10 月に竣工しています。

最初に門徒会館ホールにて、古田様から設計概要について、2017 年から計画が始まり、農振地域からの除外並びに開発許可申請を含め、設計に相当の歳月を要したとの説明でした。また、設計主旨について、播州平野にある敷地から西方に向かって本堂と高御位山が一直線に軸線が伸びてい

て、その東から西に向かう軸線に基づいて計画したとの説明でした。

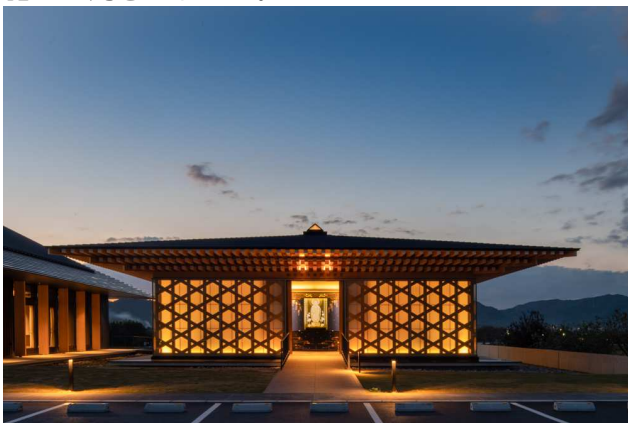
社会が少子高齢化・過疎化へと大きく変化するなか、先祖・亡き人との新しい関係を構築する為の納骨堂、古い本堂を補完し人々が集う門徒会館、寺院のあり方はどうあるべきか問いかけながら設計を進めたとのこと、納骨堂は浄土を体現できる空間とし、門徒会館は現世をイメージする空間としたとお聞きしました。



上空からの外観（R3.1号より）

今回の見学建物は、木造在来工法による平屋建てですが、床面積（門徒会館 292.5㎡、納骨堂 129.9㎡）よりは軒が深い分だけ、規模が大きく感じました。平面形状は納骨堂が正方形（方形屋根）、門徒会館が長方形（入母屋屋根）と単純ですが、深い軒の出とそれを支える構造木組（納骨堂ははね出し3段合成梁）は複雑であることが、木構造建築研究所 田原様の説明と配布された図面で理解できました。また、現場説明で木構造建築研究所 田原の村田様から納骨堂における籠目の格子組、方形屋根の隅木部分のはね出しに大変苦労したとのことをお聞きしました。

現場説明から会館ホールに戻り、施工を担当されたヒラカワ建設の大瀬様が今回の工事で使用した構造金物一式を展示されているのを見て、金物の多さに驚くばかりで、合わせて現場でのご苦労話もお聞きしました。



納骨堂夜景（R3.1号より）

質疑応答の時間になり、私から田原様に NHK の番組で取上げられた木造梁の実験について質疑したところ、実験の経緯と木材資源の有効活用に

ついて構造設計者としての貴重なお考えをお聞かせいただけました。

最後に会館ホール（仏間）西窓大開口がオープンされると、高御位山が遠方に現れ、西方浄土を目の当たりに見た思いで見学会を終えることができました。

古田様をはじめ、当日丁寧な解説をしていただいた皆様、ありがとうございました。これからは、住宅以外の木造建物が数多く増えてきそうに思います。今後機会があれば、木造建物の見学会を取り上げていきたいものです。

（研修委員会委員長 増田 正幸）



見学会当日集合写真

第39回令和3年度近畿建築祭（兵庫大会）の開催に向けて（取り組み状況の経過報告）

近畿建築士会協議会主催事業である「近畿建築祭」の次年度主管が（社）兵庫県建築士会であることまた、お隣の姫路で開催されることから、会長 宮宅勇二様より取り組み状況の情報を頂き、掲載させて頂くことにいたしました。

■テーマ：「わがこころの建築文化を求めて」

～播州・姫路城から今一度建築士に問う～

・・・千姫の 春やみらいの 夢想う・・・

■開催日時：令和4年1月29日（土）

10：00～16：30

■開催場所：姫路文化コンベンションセンター （アクリエ姫路）4階

《エクスカーショ／姫路城ほか（検討中）》

■参加費：4,000円（昼食・お土産付、エクスカーショ参加者への加算は検討課題） ※一般県民等は無料（昼食なし）とし、式典・セッションへの参加を検討中。

■参加者：約300名／近畿建築士会会員（約250名）、一般県民等（約50名）

■開催コンセプト

大天守保存修理を終えた日本での世界遺産第一

号である姫路城を仰ぎつつ、建築物やその景観が人々に与える希望と勇気を再認識し、近畿で活躍する建築士の職能（プロフェッション）を喚起する。

《プログラム（案）》

○式典/ 10:00~12:30（多目的ホール：約300名）

■開会式 【兵庫士会会長挨拶、来賓紹介、大会旗引継ぎ】

■記念講演会 講師：千田嘉博教授（城郭考古学者：奈良大学）ほか

■企業ブース案内

■閉会式 【実行委員長挨拶、大会旗引継ぎ、次期開催地会長挨拶】

○セッション/13:30~16:30（約100名）

■セッションA 「近畿あーきてくとVOL29」
：近畿建築士会協議会青年委員会

■セッションB 「未定」

：近畿建築士会協議会まちづくり委員会

■セッションC 「未定」（パネル展示検討中）
：近畿建築士会協議会女性委員会

○エクスカーション/ 13:30~16:30
（約150名）

○交流会/ 実施しません。

ええはなしやん

第66回

「職業人と語ろう」に参画して

「職業人と語ろう」は、東播磨県民局の東播磨地域ビジョン委員会夢のたねグループが開催されている企画です。小学生を対象に、様々な業種の職業人が集まり、実際の職業体験を通じて、子供たちが将来の夢を具体的に描いたり、明るい未来を想像できるようにと支援されています。

私は、縁あって加古川市立八幡小学校での開催に2年前からお手伝いさせていただいてます。今年も企画されていたのですが、新型コロナの影響で開催が中止となってしまうアンケートへの回答のみとなっていました。準備していたこともあったので残念でしたが、仕方がないですね。

さて、プログラムは、仕事体験を含む講義を45分間、生徒が入れ替わって2回行う内容なのですが、建築設計の仕事を45分で伝えなければならず、なかなか忙しい講義です。子ども達に何か成果を持って帰ってもらいたいと思うのですが、説明をして何か作業をといっても作業時間は20

～30分。毎回、悪戦苦闘しております。

毎年何人かは「建築士になりたい、興味がある」という子どもがいるようで、責任も感じております。20年後、「講義を受けて建築士になりました」という人があらわれるのでしょうか。ともかくも子ども達の人生が幸せであってほしいと願うばかりです。
（島崎 淳二）

理事会報告

理事会ってどんなことを話し合っているのか？について第86号に続いてご紹介いたします。

■協議事項

1. 総会資料の作成について

①総会次第の取り止め⇒書面議決のお願いへ
書面議決方式には、会議進行管理の次第は馴染まないため

②役員改選（案）について

理事の退任及び新任・役職変更について

③令和2年度収支決算報告について
会計監査報告について

令和3年度予算（案）について

今年は親睦会等の事業を自粛した結果、繰越金が前年度より20万円程度増えた。この20万円をコロナ後を見据え、支部事業の充実、新規交流事業に活用する。

※ 総会資料案に誤り、気付いたことがあれば、後日支部長まで連絡する。

2. 第58回支部通常総会（書面議決）の実施について

① 実施日時 4/18（日）13:30～

場 所 支部事務局／吉備建築設計室
加古川市加古川町本町21-17

② 書面表決書の集計・確認

支部長・副支部長の複数人による。

③ 総会資料・開催案内ハガキの送付

（支部日より第87号に同封） 4/2（金）
書面表決ハガキの返送期限 4/15（木）

④ 書面議決の結果報告

4/20（火）に支部ホームページに掲載。

※ スケジュール案のとおり、実施することとする。

3. その他

宮宅会長より 令和3年度近畿建築祭（兵庫大会）は令和4年1月29日、アクリエ姫路で開催。開催に向けた応援、多くの参加をお願いする。

■報告事項

1. 県本部各委員会

・総務委員会（永井氏）

会員名簿を6月に発行予定。

■会員動静

中野耕治氏 令和2年11月25日逝去

編集後記

高砂や この浦船に帆をあげて この浦船に帆
をあげて 月もろともに 出汐の 波の淡路の島
影や 遠く鳴尾の沖過ぎて はやすみのえに
着きにけり はやすみのえに 着きにけり
謡曲「高砂」の一節です。その発祥の地高砂神社
の桜は今まさに満開になっています。

例年であれば、お花見のシーズン到来で、はしゃ
いでいるところですが、早や第4波がやってこよ
うという状況下、2年連続で総会を書面による議
決ということになってしまいました。そのような
中でも、いや、このような状況だからこそ、理事
会では、自粛で余った予算をコロナ後を見据え、
支部事業の充実、新規交流事業に活用しようとい
うことで、決意を新たにしています。

『南宗寺門徒会館・納骨堂見学会のご報告』で
は、増田委員長自ら投稿してくださいました。当
日の集合写真も良いのですが、上空からの外観・
納骨堂夜景を今一度思い出していただきたいと思
い、前号に引き続き、写真を載せさせていただきます

ました。

「近畿建築祭」が来年度、姫路で開催されます。
ぜひ参加して頂きたいという思いも込めて、情報
提供頂きました。日時は決定です。スケジュール
帖に予定を入れて頂きたいと思います。

“ええはなしやん”では、島崎さんに「職業人と
語ろう」について書いて頂きました。学校からの
アンケートへの回答の内容が素晴らしく感動した
と、スタッフの方から聞いたので、ぜひ“ええは
なしやん”を書いていただきたいとお願ひし、快
く書いていただきました。ありがとうございます。

『理事会報告』では、協議事項・報告事項・会
員動静について記載しました。中野耕治氏のご冥
福をお祈りいたします。

最期になりましたが、会員の皆様からの“ええ
はなしやん”を載せていきたいと思ひますので、
情報をぜひお寄せください。

また、書面議決の結果報告を4/20（火）に支
部ホームページに掲載するということです。ぜひ
ご確認ください。

（広報委員会委員長 高橋 賢吉）

※添付の「書面表決書ハガキ」に議案の賛否とご署名をお願い致します。

※「書面表決書ハガキ」は4月15日までにご返送ください。

連絡票

メールかFAXで送付してください。（郵便も可）

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。（個人情報保護法に基づき管理致します）

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部
事務局／吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350
支部長 小西 敏文 直通 TEL：090-7889-2626
E-mail：kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com



支部だより

令和3年10月
第89号

令和3年4月の書面による総会にて副支部長に選任されました長尾淳一です。よろしくお願いします。

昨年からのコロナの影響で密を避けての日常生活が続いていますが、先月末に、緊急事態宣言も解除されて徐々に今までの生活スタイルに戻ってきていることかと思えます。

私たち建築士会加古川支部は平素の業務の中、研鑽や親睦の機会を企画し理事会と委員会を重ね会員の皆様に情報提供をしています。来年1月29日には近畿建築祭兵庫大会が姫路で開催されます。加古川支部からもスタッフとして参加するメンバーが多数います。

10月号の集いでも開催の案内があったかと思いますが、このような研修に参加し自身のスキル、見聞を高めていく良い機会かと思えますので、多くの方の参加を期待しています。

11月6日、7日 楽市楽座が日岡山公園にて開催され、青年部は参加する旨を聞いています。この事業も、加古川フェスティバルからの継続事業と認識しています。時間の都合がつく方々は是非とも応援の方々に覗いていただけたら幸いです。過去に行った事業のパネル展示等もあります。

このような事業を通じて、士会員同士の親睦が出来て、絆が深まっていくと思います。

最後に会員の皆様の健康・長寿と当会の益々の発展へのご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。
(副支部長 長尾 淳一)

令和3年度(公社)兵庫県建築士会 加古川支部 岡山県 犬島 犬島精錬所 美術館見学会のご案内



上空からの犬島精錬所美術館

加古川支部におきまして、瀬戸内海に浮かぶ犬島の散策と犬島精錬所美術館見学会を企画いたしました。

犬島(いぬじま)は瀬戸内海に位置する島のひとつです。古くから銅の製錬業と採石業などで隆盛をさわめてきた歴史があり、現在も残る当時の遺構が独特の雰囲気と景観を醸し出しています。

また、2008年(平成20年)の犬島精錬所美術館開館、2010年(平成22年)の瀬戸内国際芸術祭以降は、現代アートの島としても知られるようになっていきます。

見学会では、島内に残る銅製錬所の遺構を自然エネルギーだけの環境に負荷を与えない建築に保存、再生した犬島精錬所美術館(設計:三分一博志)と集落に点在する旧民家を企画展示ギャラリーに改修した家プロジェクト(アーティスティックディレクター:長谷川祐子、建築:妹島和世)の「F邸」「S邸」「I邸」「A邸」「C邸」と「石職人の家跡」を見学します。

記

1. 開催日 令和3年11月27日(土)
 2. 集合場所 加古川駅北自動車整理場
 3. 出発時間 8時30分
 4. 見学先 犬島精錬所美術館
家プロジェクト
(岡山県岡山市東区犬島)
 5. 募集人員 15名(最小催行人員6名)
 6. 参加費 士会会員 2,500円
非会員 3,000円
(入館料・昼食 1,000円程度含む)
 7. 申込締切 11月12日までにお願いします。
 7. 申込み 下記参加申込書により申し込みください。
- 問い合わせ TEL: 090-7889-2626 (小西)
FAX: 079-423-6350
(事務局/吉備建築設計室)

E-mail :
kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com

8. 行程
08:30 加古川駅北スタート⇒10:30 宝伝
11:00 宝伝港 渡し船⇒11:18 犬島港
11:30~犬島精錬所美術館見学
12:30~島散策(犬島家プロジェクト等)は
昼食(弁当)時間を入れて自由散策
とします。
14:00 犬島港 渡し船⇒宝伝港

14:15 宝伝⇒16:15 加古川駅周辺解散

※ 自家用車乗り合わせで現地に参りますので、
事前予約をお願いします。
(研修委員会 副委員長 林 知宏)

理事会役員による抱負や自己紹介文などなど 第88号に続く第2弾です。

「あんたが総務委員長をやいなさい」との天の声がありまして、本部の総務委員長をお受けさせていただくことになりました。それまでには紆余曲折があり、他の委員会を含めていちばん最後に決まった委員長ではないかと思われます（私らしいですね）。

この委員会の規定の所管事項によると「定款・規則に関する事項」、「土会の運営に関する事項」、「他の委員会に属さない事項」等であります。また、この委員会は他の委員会と比べると、事業、研修、講習会等、会員が直接参加する事業がないので、本部と支部とのつながりが少ないように思われます。そのため、この委員会がどのような事業等しているのかをPRしていきたいと思ひます。

昨年からのコロナ禍での事業や会議が難しくなっていますが、これからは with コロナの時代が続くと思われますので、それらを「新しい考え、工夫」を持って進めて行かなければなりません。いや、既にそのように進められているところもあります。私のような苦手なものでも ZOOM を使った WEB 会議を進めており、また参加もしています。私は、この委員長をお受けしたことにより、すこし「気持ち」が前進したように思っています。

これからも、建築士会の活動に少しでも多くの方の参加できるように微力ながらもお手伝いさせていただきますので、会員の皆様のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

(県 総務委員会 委員長 永井 英三)

会員の皆様、コロナ禍の中、第5波の緊急事態宣言も解除されても、マスク・手洗いが欠かせない毎日です。

当支部におきまして、先月理事会が久々にあり、出席率のよさに、早く活動再開に向けての願ひと、皆さんの元気な顔を見られてほっとしているところです。

この様な中、この度、土会本部の監事を仰せつかりました。私がこの土会に、携わった日も記憶しておらず、本部に確認いたしますと1987年33才でこの土会に入会したことがわかりました。

当時は、この会のことも全く無知な状態で、諸先輩からの度重なるお誘ひで、青年委員会に断り切れず入会させてもらひ、今日まで続けてまいりましたが、振り返れば大変良かったと思ひています。

これまで活動に参加しながら、たくさんの諸先輩や会員の方々とお会いする中、同じ建築士の思いを持つ会員の方々の考え方や、活動状況を見ながら、仕事の時間が許す限り参加させていただき、はや34年が過ぎております。

この中、2015年4月から4年間、当支部の支部長をさせて頂き、本部の理事会に理事として出席することにより、本部及び各支部の活躍振ひや、当支部会員も本部でも活発に活動していることも確認してまいりました。

年々、会員数も減少する中、会費値上げせざるを得ない状況時には、いろいろな意見がありましたが、維持するために改革をしながら値上げをする会議に、立ち会うこともありました。

当支部会員でもある本部の宮宅会長も、コロナ禍で、公益社団法人としての運営に経理仕分けが複雑で大変な状況の中、率先して活躍されております。

この様な状況の中で、新しい会員が一人でも多くできます様に、まずは声掛けをしながら、少しでもこの会の力になればと思ひ、微力ですが皆様のご指導を戴きながら最善を尽くしたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

(県 監事 矢幡 稔)



理事会の様子

公益事業や奉仕活動等を執行する各種団体に所属していると何かしら役務が回ってきます。人の世話や社会の役立ちを主として活動をしています。

今年度は兵庫県建築士会の事業で建築相談を受ける相談員として登録をしました。まだ本部からの紹介で一般の方々からの相談を受けたことはありませんが、日々の建築士の業務から得た知識などを活かしてしっかりと相談業務に携わってまいりたいと思ひます。

また行政関係では、地震災害等時に建物の安全を判断する応急危険度判定士として登録し、また空き家等対策協議会委員として地域社会の問題についても議論しています。他には昭和56年以前の木造住宅いわゆる旧耐震基準の木造住宅の耐震

診断および補強提案などをする耐震診断士としての業務もしています。この場面でよく質問されるのがお金の話です。維持管理や改修、建替え、相続などで、この時は建築士とファイナンシャルプランナーの立場で皆様のお役にたてるように努めています。（研修委員会 副委員長 林 友宏）

よくわからずに入会した建築士会も、過去の支部だよりを振り返れば5年が経っていました。元々建築科を出たわけでもなかったわけですが、自分自身の知識の向上のため、また仕事の幅が広がればと思い、平成23年に二級建築士の講座に通い始めて2年かけての取得となりました。建築士会にはしばらく入会しないまま数年が過ぎたわけですが、入会しなければ知らなかった情報がかなり多いことに気づきました。建築士を持っていなければ受講することができない講座を数多く知りました。また日々の現場管理で必要な知識の向上に役立つ講習会も多数あり、これまで数多く参加してることができました。こういった情報は、団体からの情報がなければなかなか一人で情報を得る機会が少ないと思います。さて、青年部の活動としては、11/6、7 加古川楽市への出店があります。フォルザの木工体験は未定ですが、それぞれの事業の際にはまた皆様のお力添えをどうぞ宜しくお願い致します。私的なことですが、家の子ももうすぐ3歳になります。電車や新幹線が大好きで、切る服の大半は鉄道関係、遊びはプラレール、新幹線や電車を見に行くのが大好きと、鉄道オタク化しています。最近では、入場券を買って西明石駅のホームで見学したり、加古川の河川敷で見えるワイドビューな新幹線を見ながら走り回ったり・・・顔を知っていただいている方も多いと思います。見かけたらお声がけ下さい。

（青年部 副部長 金尾 祥吾）

はじめまして、本年度から青年部副部長をしております高橋です。少し自己紹介を。

6歳でサッカーを始め今もまだ現役でしてます。士会のみなさんとは少し経歴も違い、わたしは高校も大学もスポーツ推薦で入学しました。建築士の資格も実務経験で受験し努力と根性で合格できたと自覚してます。文字通り体育会系人間なので人見知りなんてした事ありません。

士会に入らせて頂き副部長までさせてもらったからには、行事への貢献はもちろん「元気で明るく誰とでも話せる」という自分の唯一の武器を存分に発揮して加古川支部が明るく楽しい支部になるように会員同士の繋ぎ役としても頑張っていると思っています。よろしくお願いします。

（青年部 副部長 高橋 章二）

今年度も引き続き青年部会の会計を担当させていただきます。東田です。

昨年から、こちらも引き続きコロナ禍による緊急事態宣言の影響で、活動自体ができない状態が続いていました。

思えば、世間の動向に気を配りつつ催事の準備をしたにもかかわらず、あえなく中止となった事案もいくつかありました。

そういったことも、一つの印象深い出来事として残ると考えれば、今後何かの糧になるのではないのでしょうか。

10月に入り緊急事態宣言も解除になり、ようやく活動が出来そうな雰囲気になってきましたが、枷が緩んでしまうと再び緊急事態宣言となるかも知れません。

そういったことにならないよう、これからも気を引き締めて、建築士会の活動を行っていければと思います。

（青年部 副部長 会計 東田 洋一）

ああ今年もあと2か月かぁ…と肌寒さを感じたここ数日、今年の2級建築士製図講習はハードな講習だったなと振り返りました。

昨年同様コロナ禍の講習だったため、感染対策を行い、いざ講習へ。

例年であれば、学科試験終了後の7月頃から製図講習開始だったのですが、今年は受講生が多いのと課題内容が「歯科診療所併用住宅 RC造」と3年に一度のRC造だったせいか、少し早い目に講習を開始することに…。

最初は1人2人が簡単な間取り図や基礎問題をゆったり週1回こなしていました。そうこうしている間に7月となり、今年の学科受験者も合流し、本格的に週2回の講習を開始。講習の問題は毎年8~10問をある講師が一人で作成しており、毎回げっそりとなりながらも作成している姿は、失礼ながら、毎年の風物詩ではないかと思っています。「今年も問題作成お疲れさまでした」

今年は生徒が6人となり、当然一人一人の書き方や進むスピードが違っているので、講師陣も苦戦したのではないかと思います。

何とか一式図面も書けるようになり、少し安堵しつつ、本試験1週間前の最後の模擬試験「まさか…（汗）」と、まあ今年も濃い内容でしたが、試験会場前の某ハンバーガー店の前で見送った生徒の後ろ姿は不安になりながらも何とか描ききってやろうという自信が垣間見えたように思えます。

来年はコロナの影響も少しは落ち着くのではないかと思います。皆様も一度どんな講習をしているか覗きにきてみてください。あと、来たときは問題の案を一つ手土産として頂ければ、ある講師が救われるのではないかと思います。

今年もあと2か月体調を崩さず、頑張りたいと思います。（青年部 永田 康貴）

パラレルな行動

小学生の頃、初めて星占いなるものを雑誌のコーナーで見つけ、自分ではてんびん座であることを知りました。それ以来、二つの間で事を計るというてんびん的な思考、性格が刷り込まれてしまった様な気がします。

血液型の性格判断や占いは、飲み会の定番ですが、皆さんは自分の性格や行動を星座占いの星座イメージに重ねたりしたことはありませんか。と言っても中高年男性で乙女座の人や魚座やかに座の人は、そんなあほなこと考えるかと言われそうです。

言われてみれば日本人の生活文化に関係のないギリシャ、ヨーロッパ文化圏の占い、星座イメージに自分の性向を重ねるなんておかしいことです。

「男だったら、一つに懸ける、掛けてもつれた謎を解く、誰が呼んだか、誰が呼んだか、銭形平次、花のお江戸は八百八町、今日も決め手の、今日も決め手の、銭が飛ぶ」、中高年の方なら聞いたことがあるお馴染み、銭形平次の主題歌です。

男だったら、アレコレ比べず一つに絞って行けと言っています。でも、かけて外れたらどうするのか、男らしく謝る、誤ってすまないこともありま

す。だから、「プラン B が必要なんだよ。」と、てんびん座の私は、自分の優柔不断な性格を正当化しています。

コロナ禍でサプライチェーンが簡単に切れることを知り、世界は繋がっている、共存共栄です。以前にも増して先が見えない今、一つのこと、方向に重心を置くのは避けた方が良いと思う、私のてんびん座的行動はいつもパラレルです。

(支部長 小西 敏文)

編集後記

前回に引き続き、県役員・理事会メンバーに自己紹介や抱負を述べて頂きました。また、2 級建築士製図講習では、講習の終了時間が 25 時というのが何回もあり、これは苦労話などぜひ記事にしてほしいと青年部の部会長杉山さんに「どなたかに書いていただきたい」と無理をお願いしたところ、青年部永田さんが書いてくださいました。ありがとうございます！ ある講師って誰？ 気になるところです。また、こっそり教えてください。

11 月は魅力的な見学会もあります。参加して盛り上げましょう。参加は下記よりお願いします。

“ええはなしやん” 他、投稿お待ちしております。

(広報委員会 委員長 高橋 賢吉)

連 絡・参加申込書

メールか FAX で送付してください。(郵便も可)

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。(個人情報保護法に基づき管理致します)

“加古川支部 岡山県 犬島 犬島精錬所美術館 見学会”

① 参加者氏名 (会員・非会員)

(会員・非会員)

② 緊急連絡先 (携 帯 番 号)

③ 連 絡 票

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部

事務局／吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350

支部長 小西 敏文 直通 TEL：090-7889-2626

E-mail：kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com

